

**製品名: ATP6V1E1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86383**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:26 kDa; Observed MW:26 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATP6V1E1
別名	P31; Vma4; ATP6E; ARCL2C; ATP6E2; ATP6V1E
遺伝子 ID	529
SwissProt ID	P36543
免疫原	ヒト ATP6V1E1 の組み換えタンパク質

**背景**

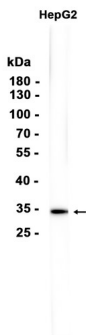
この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介する多サブユニット酵素である液胞 ATPase (V-ATPase) の構成要素をコー

ドしています。V-ATPase 依存性の小器官の酸性化は、タンパク質選別、チモーゲン活性化、受容体を介したエンドサイトーシス、シナプス小胞プロトン勾配形成といった細胞内プロセスに不可欠です。V-ATPase は、細胞質 V1 ドメインと膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V1 ドメインは、3つの A サブユニット、3つの B サブユニット、2つの G サブユニット、および C、D、E、F、H サブユニットで構成されています。V1 ドメインには ATP 触媒部位が含まれています。この遺伝子は、異なる V1 ドメイン E サブユニットアイソフォームをコードする、代替転写スプライスバリエントをコードしています。この遺伝子の擬遺伝子がゲノム中に見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ATP6V1E1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。